

【新春企画】

夢・希望へ挑戦する若者 ②

新型コロナ 3回目ワクチン接種 ④

米価下落で町独自支援 ⑦

町の考えを問う（7議員が一般質問） ⑧

町の課題をチェック（常任委員会） ⑩

# すみた 議会だより

「サンタさんにご対面」

《有住保育園》 関連記事20p



No.176

令和4年  
1月14日

町では、地域社会と産業を支える後継者育成と新たな担い手への支援に取り組んでいます。議会としても、次世代の担い手の声に耳を傾け、安心して働ける環境づくりのための政策を提言してまいります。

# 夢・希望へ

工房

## 子どもの頃からの夢

小学生の頃から「お菓子屋さん」になることが私の夢でした。高校を卒業後、上京し念願のパティシエールになるため、洋菓子店で修業を重ねました。

独立する前に結婚をし、出産子育てと忙しい日々を過ごしていましたが、子どもの頃からの夢をあきらめきれず、自分のお店を持ちたい一心で自宅の一画にプレハブを建てお店を始めました。

沢山の方に支えていただきながら、販路拡大を目指し頑張っています。



イトプラス

お菓子工房eat+

さとう あきこ  
佐藤 晃子さん  
(上有住字恵蘇)

農業



## 新規就農者（ほうれん草栽培）

きくち ゆたか (写真左/  
菊池 悠さん 下有住字火の土)  
たかはし ひろのり (写真右/  
高橋 玄伯さん 上有住字大畑)

## 研究と改善を繰り返して

子育てにゆとりを持ちながら柔軟に働ける環境と耕作放棄地解消、稼げる農業の実践を目標に掲げ、春から同級生ふたりで就農しました。

学ぶことの多い毎日ですが、先輩農家や地域の方々、家族の理解と協力に助けられながら研究や改善を繰り返して日々取り組んでいます。

ビニールハウスや機械設備等のさらなる整備と大消費地への独自流通システム確立を目指しています。

建設

## 工事の完成に達成感

先輩の紹介がきっかけで勤めています。

建設重機や除雪車等のオペレーター業務を任される機会が増えました。

冬期間は業務負担が大きく、手間もかかるので大変なことも多いですが、工事の完成や業務の完了にはいつも達成感があり、やりがいになっています。

国道や県道の道路維持管理にも携わります。通行車両が支障をきたさないよう安全走行のため、定期的な枝払いや支障木の伐採が大切だと実感しています。



有限会社 吉田工務店

こまつ ゆきひろ  
小松 享祐さん  
(世田米字川向)

## 我が町の 担い手支援

- 起業奨励金
- 新規学卒者雇用促進奨励金
- 農業次世代人材投資資金事業
- 若者職場定着奨励金
- いわてニューファーマー支援事業交付金
- 林業担い手対策事業補助金

### 理想の居心地を求めて

私達二人は、生き物が好きなことからこの職場を選びました。

農村に憧れ理想の居心地を求めています。仕事は、生産農場を巡回し、プロイラーのひな導入から出荷までの飼育・衛生管理の手伝いです。生産者の方々は、優しく丁寧に接してくれます。

住田町は自然にあふれ、満天の星空にいつも感激しています。



畜産

住田フーズ株式会社 生産部

ちば こうたろう (写真左/  
千葉 弘太郎さん 北上市出身)  
いながわ りょうた (写真右/  
稲川 諒太さん 盛岡市出身)

福祉



特別養護老人ホーム すみた荘  
きくち まりえ  
菊池 真理絵さん  
(世田米字小府金)

### 入居者に寄り添って

すみた荘の8つあるユニットの一つ「けやき」でユニットリーダーをしています。

お食事の用意や介助など、入居者の生活のお手伝いが主な仕事です。

介護職に就いたきっかけは、小学校時代の職場体験で高齢者の「ありがとう」や「笑顔」に接したことです。実際の仕事は、その時の体験ほど簡単ではなく、仲間と共に、入居者への寄り添い方を考え続ける毎日です。

そこにやりがいも感じています。

### 自然にもっと関心を

森林の間伐や全伐に関わる重機オペレーターをしています。手に職をつけ、いつまでもできる仕事に就きたいと思い林業に進みました。

「SUMITAチェーンソーアート杉遊会」では、事務局をしています。年代を越えて、楽しく木を使って遊べるような活動を目指しています。

景勝地「鏡岩」に関心があります。キャンプ場としてさらなる整備をし観光スポットにしてはどうでしょうか。

若い年代層には、木や山、川など自然にもっと関心を持ってもらえればと思います。



林業

有限会社 泉林業

さとう よしはる  
佐藤 良晴さん  
(上有住字船作)

# 挑戦する 若者



第19回定例会  
(12月議会)  
あらかし

新型コロナ

引き続き  
基本的な生活様式の

徹底を

経済・生活支援に補正予算

△ 商工会等関係機関と連携し、町内事業者の影響を把握し適切な支援策を検討していきます。

第19回定例会（12月議会）は、12月7日から10日までの4日間の会期で開かれ、一般質問には7人の議員が登壇。新型コロナウイルスへの対応や農業、観光振興、教育環境整備などについて論戦が交わされました。

本会議では、新型コロナウイルス感染症の影響によって困窮する事業者への補助金や3回目ワクチン接種費用を盛り込んだ一般会計補正予算案、町債権管理条例の制定、財産取得、教育委員の人事案件など議案12件を可決し、閉会しました。

家賃補助などで経営支援

地域企業経営継続支援補助金

**問** 経営支援策の詳細と事業効果のねらいは。

事業補助金」として290万円を予算計上する。店舗や土地等の賃貸借

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した事業者の固定費を支援するため、「地域企業経営継続支援

契約を結んでいる中小企業や農業者に対し、家賃や土地賃貸料を助成、事業者の経営継続を支援し、地域経済の維持を図る。

コマースシャルで消費喚起

事業者CM制作支援委託料

**問** コマーシャル（CM）制作支援は。

て357万円を計上する。新型コロナウイルスの影響で売り上げが伸び悩む町内事業者のCMを制作し、住

**答** 「事業者CM制作支援事業委託料」とし

業者のCMを制作し、住

補正予算

新型コロナウイルス感染症に係る事業者支援やワクチン接種に関する費用を盛り込んだ補正予算。

田テレビで放送することで消費喚起につなげる。事業者の業種は問わない。制作本数は30本を予定。

| 会計名       | 補正額          | 補正後の<br>予算総額 |             |
|-----------|--------------|--------------|-------------|
| 一般会計(第5号) | 708万4千円      | 50億8524万5千円  |             |
| 特別会計      | 国民健康保険(第2号)  | ▲56万5千円      | 7億1142万1千円  |
|           | 介護保険(第3号)    | 209万3千円      | 10億4648万3千円 |
|           | 後期高齢者医療(第2号) | ▲138万4千円     | 7805万3千円    |



△ 3回目の接種に向けた体制の整備が求められる。

# 3回目ワクチン 接種体制を確保

- 接種委託料
  - 接種会場清掃・除雪委託料
  - 接種会場誘導業務委託料
  - 健康管理システム改修委託料など
- 455万円**
- 検査費用等助成金 **120万円**

新型コロナウイルス感染症対策費として、3回目のコロナワクチン接種委託料や接種会場の清掃・除雪委託料、検査費用等に対する助成金など575万円を一般会計補正予算に計上。

**問** 引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、町民にどのように注意喚起をしていくのか。

**答** 新型コロナウイルスにより感染が拡大するため、「3つの密を徹底的に避け、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗い等の手指衛生」等の基本的な感染症対策を徹底する。新たな変異株である「オミクロン株」が確認されており、情報収集に努め、防災無線や住田テレビなどで注意喚起に取り組んでいく。

**問** 接種日の希望は「返信用はがき」で

**答** 一般町民への3回目ワクチン接種の通知は、

**問** 1、2回目の接種同様、ワクチンを無駄なく使用し、効率的な送迎を行うため、接種日が指定された接種券を個別に通知する。指定日の都合が悪い場合は「返信用はがき」に希望日を記載し届け出る方法を行う予定としている。

## 人事案件に 同意

【教育委員】

多田茂教育委員の退任に伴い、新教育委員に大山敏一氏を任命することに同意。



おお やま としかず  
**大山 敏一氏** (上有住 58才)  
任期は、  
令和4年1月2日～8年1月1日

## コロナ・冬季対策

低所得世帯に光熱費補助

生活困窮者冬季特別対策事業

冬の暖房には欠かせない灯油の価格高騰が続く中、低所得世帯の経済的負担を軽減するため光熱費や防寒用品などに助成する。「生活困窮者冬季特別対策事業費補助」として238万円を計上。

**問** 給付金を受領するための申請手続きは。

**答** 受給には申請が必要となり、対象者と見込まれる人には1月上旬に申請書の送付を予定している。2月中の申請期限とし、年度内の支給完了に努めたい。

### ■ 給付金対象世帯

町内に居住し、世帯員の全てが住民税非課税で、次のいずれかに該当する世帯

- ① 65歳以上の高齢者世帯
- ② 障がい者世帯
- ③ 平成15年4月1日以降に生まれた児童を扶養する子育て世帯。
- ④ 生活保護世帯

支給金額 1世帯当たり5000円

謹んで新春のお慶びを  
申し上げます

町議会議員一同

債権管理条例の制定

# 債権の多様化に対応

● 条例制定のねらい

町の債権管理の適正化を図り、公正かつ公平な町民負担の確保及び円滑な行財政運営に資するため、事務処理に関し必要な事項を定める条例を制定するものである。

**問** 債権管理条例を定めるに至った経緯は

**答** 何か。近年、町の債権が多様化し、適正な債権管理が求められ、債権管理の基準統一、債権の分類に応じた取扱いの明確化など、従来の制度運用上の課題を整理する必要があるため。

**問** 債権には、町税や分担金、使用料などの未払いや滞納など様々な要因があると思われるが、どのように取り組む考えか。

**答** 収入未済額の体系的な管理基準に加えて、司法手続きや徴収不能な債権の処理基準を明確にし、債権回収の担当職員が、公平公正に債権管理ができるように取り組むたい。



■町の主な債権内訳 (令和2年度住田町会計決算書より)

| 区分       | 収入未済額        | 適用                          |
|----------|--------------|-----------------------------|
| 町税       | 16,780,309円  | 町民税、固定資産税、軽自動車税             |
| 使用料及び手数料 | 3,268,594円   | 町営住宅使用料、地域情報通信基盤施設使用料       |
| 分担金及び負担金 | 225,720円     | 保育所運営費一部負担金、地域情報通信基盤施設加入負担金 |
| 財産収入     | 226,352,264円 | 土地貸付料、立木売却代金、建物貸付料          |
| 諸収入      | 26,838,147円  | 奨学資金貸付金、学校給食費徴収金、雑入         |
| 一般会計総額   | 273,465,034円 |                             |
| 国民健康保険   | 8,175,352円   |                             |
| 介護保険     | 1,181,480円   |                             |
| 全体総額     | 282,821,866円 |                             |

財産取得

■取得する財産  
仮想化統合基盤機器等の購入(庁舎内コンピュータシステムの更新)

■取得する目的

平成28年度に導入したユーザー管理やインターネットメールなど、各システムの機器更新にあたり、システム全体を一つの機器で運用するため、新たな仮想化統合基盤機器を購入する。

各システムの運用に複数のサーバーを用いているが、同機器を導入後は1台のサーバー上で複数のシステムの効率運用やコスト削減につながることもとなり、年明け以降に運用となる予定。

■取得予定価格

1738万円

■取得方法

買入れ

■購入先

テクノ株式会社  
盛岡市厨川3丁目10番1号



△ システム更新されるサーバシステム。

条例の廃止

■復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止

東日本大震災復興特別区域法施行令の一部改正に伴い、復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する。

条例の改正

■住田町税条例の一部を改正  
軽自動車税の種別割の納期が4月末から5月末に変更される。

■過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正  
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴い、令和3年4月1日以降に取得する対象設備への課税免除が適用される。

■住田町国民健康保険税条例の一部を改正

地方税法などの一部改正に伴い一部を改正した。

# 第18回臨時会

第18回臨時会は、11月18日に開かれ、米価下落への対応を盛り込んだ一般会計補正予算案、職員や特別職、議会議員の給与・報酬などに係る条例の一部改正など5議案を原案通り可決しました。

# 米価下落で町独自支援

## 次期作水稻苗・種もみ助成も

新型コロナウイルス感染症拡大による米価下落の影響を踏まえ、令和3年産主食用米販売農家への緊急支援金83万円と令和4年産用の水稻苗や水稻種子などの購入者に対する助成金106万円を計上。

米販売農家への助成対象は、令和3年産主食用米として作付けし、検査、販売した玄米で、令和2年産と比較して60kgあたり2300円以上の販売下落している米。

※対象外は…自家保有米、産直出荷分、ふるさと納税返礼品などで価格設定が容易な米。

令和3年産主食用米販売農家への助成  
●玄米1袋(30kg)につき100円。  
●令和4年産用水稻苗・水稻種子購入への助成  
・農協から購入する水稻苗1枚当たり50円  
・水稻種子など1kg当たり107.5円

### 条例の改正

#### 期末手当を引き下げ

|      |        |
|------|--------|
| 職員   | 0.15ヶ月 |
| 特別職員 | 0.1ヶ月  |
| 議員   | 0.1ヶ月  |

#### 改正の理由

岩手県人事委員会が県に対して期末手当の引き下げを勧告したことに準じて、職員と特別職、議員の期末手当の引き下げの関係条例の一部を改正した。

**問** 期末手当の引き下げの背景をどう捉えるか。

**答** これまで、職員の給与等の改定は、県人事委員会の勧告に準じてきた。今回の勧告が、コロナ禍における県内の経済動向を踏まえた民間給与を反映したものと捉え、期末手当を引き下げたものである。

### 賛否が分かれた議案 採決状況一覧

○賛成 ×反対

| 議案             | 水野正勝 | 荻原勝 | 佐々木初雄 | 佐々木信一 | 佐々木春一 | 村上薫 | 阿部祐一 | 林崎幸正 | 菊池孝 | 高橋靖 | 菅野浩正 | 瀧本正徳 | 議決結果<br>(賛成：反対) |
|----------------|------|-----|-------|-------|-------|-----|------|------|-----|-----|------|------|-----------------|
| <b>第18回臨時会</b> |      |     |       |       |       |     |      |      |     |     |      |      |                 |
| 議案第2号          | ○    | ○   | ○     | ○     | ○     | ×   | ○    | ×    | ○   | ○   | ○    | —    | 可決(9:2)         |
| 議案第3号          | ○    | ○   | ○     | ○     | ○     | ×   | ○    | ×    | ○   | ○   | ○    | —    | 可決(9:2)         |
| 議案第4号          | ○    | ○   | ○     | ○     | ○     | ×   | ○    | ×    | ○   | ○   | ○    | —    | 可決(9:2)         |
| 議案第5号          | ○    | ○   | ○     | ○     | ○     | ×   | ○    | ×    | ○   | ○   | ○    | —    | 可決(9:2)         |
| <b>第19回定例会</b> |      |     |       |       |       |     |      |      |     |     |      |      |                 |
| 議案第5号          | ○    | ○   | ○     | ○     | ○     | ○   | ○    | ×    | ○   | ○   | ○    | —    | 可決(10:1)        |
| 議案第12号         | ○    | ○   | ○     | ○     | ○     | ○   | ○    | ×    | ○   | ○   | ○    | —    | 可決(10:1)        |

# 一般質問

# 町の考えを問う

## 7人の議員が質問

## コロナ対策 仕事・学び事業などで論戦

| ページ | 質問者<br>(登壇順)     | 質問項目                                                                           |
|-----|------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 9   | おぎわら 荻原 まする 勝    | ① 種山の観光振興<br>② 教育環境整備                                                          |
| 10  | みずの 水野 まさかつ 正勝   | ① コロナ禍からの脱却と今後の経済対策<br>② ふるさと納税の課題と展望<br>③ 消防団屯所の災害対策                          |
| 11  | あべ 阿部 ゆういち 祐一    | ① コロナウイルス感染症経済対策<br>② 農業振興                                                     |
| 12  | はやしざき 林崎 さちまさ 幸正 | ① 下水道会計への繰出金と町民負担の公平性<br>② 2期目の神田町政                                            |
| 13  | ささきしんいち 佐々木信一    | ① 就農者、担い手支援<br>② 原油価格高騰に係る支援策<br>③ 仕事・学びの場創出事業と地域との関係                          |
| 14  | ささきはるかず 佐々木春一    | ① 今後の新型コロナウイルス感染症対策<br>② 公務員の働き方改革と役場職員の育成<br>③ 日本スポーツマスターズ2022岩手大会軟式野球競技の開催対応 |
| 15  | むらかみ 村上 かおる 薫    | ① 新教育長の教育行政所見<br>② デジタル変革（DX）への対応<br>③ 仕事・学びの場創出事業の合意形成                        |

なお、全文記録(議事録)は、令和4年2月中旬から役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、施行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は一周ずつ質問する一問一答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

# 問 種山一体管理の方策は

## 答 令和5年度以降目指す

**問** 遊林ランドは、令和3年度末に補助事業上の

制約がなくなり令和4年度から施設の利用目的を新たに設定することが可能となる。種山全体の一体管理や運営、観光振興等について、令和3年度に検討を進めるとしている。検討の進捗状況は。

**答** 町長

令和5年度以降に種山全体を一体的に管理及び

運営ができるよう、各施策の課題解決に向けて関係課で情報を共有しながら検討を継続している。

全体方針を決定していく過程で、種山を訪問する方々のニーズの把握にも努め、対応方法や問題解決策を検討しながら、種山全体のあり方を見出していきたい。

**問** 国指定史跡となった

栗木鉄山跡を含む種山の資源をどう活用するか。

**答** 町長

遊林ランドや道の駅ほらん、森林公園、イベント広場、栗木鉄山跡などを含む周辺一帯は、三陸ジオパークに登録されている。観光や森林体験、歴史文化、教育などの観点から町の貴重な資源であり、相互に連動させ有機的な活用を図りたい。



おぎわら 荻原 まさる 議員

種山の観光、開発に関する計画は、住田町と奥州市が一体となってやるべき。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 教育環境の整備は

## 答 地域・保護者の考え方重要



△ 理数系学習に活用されている電子黒板。

**問** 町内小中学校の教育環境整備は町教育審議会に諮問している。学校の再編・統廃合をどう考えるか。

**答** 教育長

本町の年間出生数及び現在の児童生徒数の推移から、今後さらに学校の小規模化が予想される。統廃合を含む教育環境の整備は、中長期的に本町の子供たちにとってどうあるべきかを最優先に考えつつ、現在の学校の状況、地域や保護者の考え方を様々な視点で検討する必要がある。

**問** 教育審議会の答申の

見通しはどうか。

**答** 教育長

結論の先送りはず、令和4年3月中旬に答申を受け、検討している。

**問** ILC（国際リニアコライダー）誘致の動きを受け、児童生徒の理数系学力向上に取り組んで

はどうか。

**答** 教育次長

町内中学校では全国に先駆けて、数学と理科のデジタル教科書を活用している。地域の特性に合わせた学習も大切であり、地域創造学の中でも理数系の学習成果を活用していく。

# 問 クーポン給付を現金へ

## 答 利用しやすい方法で



みずのまさかつ  
水野正勝 議員

町の考えを問う

住民同士のつながりが希薄になれば、地域の衰退は加速し、有事への対応も厳しさを増していきます。

議員のつぶやき

**問** 子育て世帯への臨時特別給付金のうちクーポン5万円給付では、他自治体において現金への変更も検討されているが、本町での対応はどうか。

**答** 町民生活課長 国の通知を待った上で、子育て世帯が利用しやすい方法を考えていきたい。

**問** コロナ禍の影響により住民の経済活動はまだまだ停滞をしている。さらなる経済対策を実施するべきだがどうか。

**答** 町長 今回の補正予算で中小企業者等への家賃等の補助策を講じる予定である。

**問** 町内における社会活動や行事などの住民交流機会が減少しているが、今後のあり方はどうか。

**答** 町民生活課長 緊急事態措置区域外の都道府県では、感染防止安全計画を策定し、自治体の確認を受けた場合、収容定員まで人数制限なくイベント等を開催することが可能となっている。本町においても行動制限が緩和されることにより、社会経済活動の活性化が想定されるが、引き続き三密の回避やマスクの着用など基本的な感染症対策に取り組んでいきたい。

# 問 ふるさと納税の展望は

## 答 財源確保と町の活性化

**問** 本町におけるふるさと納税の課題と展望は。

**答** 町長 住田町への応援を多くの方にしていたため、取り組みを継続して実施することが必要。ふるさと納税を通じて自主財源の確保と町の活性化につながっていくことを期待する。

**問** ふるさと納税の用途の具体的な提示や寄附金の活用実績報告が、今後さらに重要になっていくと考えるがどうか。

**答** 企画財政課長 寄附金の使い道や実績等は町ホームページに提示している。今後も各種事業へ充当した場合は公表に努めたい。

## 落雷被害は

**問** 本年8月4日に落雷が原因とされる火災の被害を受けた東峰消防屯所  
の改修状況と他屯所を含めた再発防止策はどうか。

**答** 町長 消防団第2分団2部屯所は、令和4年1月10日に改修完了の予定となる。再発防止のため、今回の改修工事に併せて当屯所には避雷針を設置する。

他の18屯所は、高さ20m未満の建築物であり、建築基準法上では避雷針の設置義務はないが、建替え整備や施設改修が生じた際に併せて避雷針の設置も対応していく。



△ ふるさと納税の受付窓口となっているインターネット上のポータルサイト。

# 問 国による経営支援策は

## 答 事業復活支援金を創設

**問** 新型コロナウイルス

感染症の影響で事業者の売り上げが減少し、経営は打撃を受けている。国の経営支援策はどうか。

**答** 町長

国の経済対策として「事業復活支援金」が設けられる。事業者の固定費などを支援するため、5ヶ月分の売り上げ減少額を基準に算定した額を一括で給付。個人事業主で最大50万円、法人で最大250万円が支援される。

商工会を窓口とし、地域や業種を問わず幅広い事業者の下支えを行う。

**問** 町独自の事業者支援策はどうか。

**答** 町長

コロナ禍で疲弊する中小企業を対象に「地域企業経営継続支援事業補助金事業」を実施する。土地や建物の賃貸借料に対して補助を行い、経営継続と地域経済の維持を図る。

**問** 子育て世帯への臨時特別給付金において、児童手当を活用した給付方法に該当しない16歳から18歳までの子供がいる世帯への対応をどのように考えているのか。

**答** 町長

16歳から18歳までの養育者には、支給を実施するための申請をしていただく必要がある。支給要件と口座情報等を確認した上で給付することになる。



あべ ゆういち  
阿部 祐一 議員

今年こそはコロナが終息して、景気が回復することを望みます。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 多面的交付金事業の拡大を

## 答 集落座談会の機会を活用



△ 多面的機能支払交付金を活用した水路維持管理作業。

**問** 耕作放棄地の防止や地域環境を守るためには

「中山間地域直接支払交付金事業」や「多面的機能支払交付金事業」の役割は重要と捉える。さらなる普及拡大が必要と思うがどうか。

**答** 町長

集落座談会や農林業振興会などの機会を活用して普及啓発に取り組んでいる。来年度からの多面的機能支払交付金事業の新規実施に向けて協議を進めている地域もある。地域での合意形成を図り、円滑に事業が実施できるよう関係機関と連携を図りながら支援をしていく。

**問** 国が次年度から実施を目指している「農業次世代人材投資資金事業」の主な変更内容はどうか。

**答** 町長

将来の農業の担い手となる49歳以下の新規就農者へのさらなる育成支援を目的に、当制度が改正されるとの情報がある。農業機械などの初期投資を軽減するため、最大1千万円を一括で支援する内容が見込まれるほか、就農希望者を新たに雇用する農業法人などへの助成期間を従来の最長2年から5年に延長する支援制度になるとのこと。

# 問 下水処理への一般繰出理由

## 答 赤字補てん目的ではない



はやしぎ 林崎 さちまさ 幸正 議員

町の考えを問う

合併浄化槽の普及が町内でもっと広がるような環境づくりを進めてほしい。

議員のつぶやき

**問** 下水処理費用は、使用料収入をはじめとする事業経営に伴う収入で賄うとされているが、一般会計からの繰出金によって補てんが行われている。繰出金の内訳はどうか。

**答** 町長

下水道事業会計への繰出金の内訳は、

- ① 自然条件等により建設改良費が割高なため、汚水処理の資本費が高額になっている高資本費対策に要する経費
  - ② 分流式下水道等に要する経費
  - ③ 公営企業会計適用に要する経費
- となっており、全て総務

省の繰出基準に基づいている。赤字補てんを目的とした繰出しは行っていない。一般会計からの繰出金は、下水道費として地方交付税措置がなされている。

**問** 町の下水道事業における下水処理方法や処理費用の特徴は。

**答** 町長

本町では雨水と汚水を分けて処理する分流式下水道を採用。合流式下水道に比べ、公共用水域の水質保全に寄与している。下水処理費用は小規模な分流式下水道のため割高にあると捉えている。

## 問 町民負担の公平性は

## 答 合併浄化槽設置支援を充実

**問** 下水道サービスを受けていない町民も、間接的に下水道料金を負担していることになる。公平性は保たれているのか。

**答** 町長

下水道区域外における合併浄化槽の設置費用は、国費、県費、町費で補助している。町負担分の補助金は、公共用水域の水質保全等を指す必要があることから国の補助基準額よりもかさ上げしており、県内市町村と比較しても有利なものと考えている。

区域内を一概には比較できないが、下水道使用料と合併浄化槽の維持管理費を比較しても大きな差はないと捉えている。

**問** 国による浄化槽法の一部改正では、個人浄化槽の維持管理は個人だけではなく行政にも管理責任があるとの主旨が記載された。さらなる公共用水域の水質保全のためにも、合併浄化槽の維持管理を公営的な事業として捉え、設置拡大の推進をすべきだがどうか。

**答** 建設課長

環境に配慮した衛生的な生活環境を整備していくことは行政の責任と捉える。今後も合併浄化槽設置への助成を継続しながら拡大を図りたい。

○その他の質問項目  
・2期目の神田町政について



△ 公共用水域の水質保全を目指す世田米浄化センター。

# 問 町独自で就農支援延長を

## 答 技術・経営指導を継続

**問** 国では新規就農者を支援するために「農業次世代人材投資資金事業」を実施し、5年間で最大690万円を支援するとしているが、支援終了後に離農する就農者も多い。経営安定化や長期定着を図るため、支援期間を町独自で延長してはどうか。

**答** 町長 大事なのは新規就農を志す本人の意欲や真剣度を

であり、将来の営農計画を立てる段階の支援に重点を置くべきと考える。就農支援の終了後も、

町をはじめ農業改良普及センターや農協などと連携しながら技術指導や経営指導を継続していく体制づくりが必要と考える。

**問** 原油価格高騰の影響による町内事業者への対策をどう講じていくか。

**答** 町長

原油高騰が町内事業者に今後どのような影響を及ぼしていくのか先行きが不透明である。事業者等を支援する国の経済対策の動向を注視するとともに、商工会等関係機関と連携し、事業者の状況把握に努める。町の財政状況も考慮する中で、適期に適切な支援策が取れるよう検討をしていく。



ささきしんいち 議員  
佐々木信一

今年の冬も寒くなりそうです。光熱費の支援で暖かい冬を過ごしましょう。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 灯油高 住民支援は

## 答 低所得世帯への光熱費支援

**問** 冬期間の生活必需品であるガソリンや灯油が値上がりし、町民生活に重い負担となっているが支援の考えはどうか。

**答** 町長

現在の新型コロナウイルスの感染状況から、現時点では全世帯を対象とした光熱費支援の予定はないが、最近の灯油等の価格高騰は家計に大きな影響を及ぼしている状況にあると認識している。低所得世帯ではより厳しい状況と捉えており、光熱費支援に取り組んでいく。

**問** 仕事・学びの場創出事業における利用者と地域住民との関わり方をどのように捉え、展望しているのか。

**答** 町長

町外の方々のリモートワークやワーケーション、地域住民の各種セミナーや講習会、児童生徒の学習など多くの利用を考えている。施設利用をきっかけに地域の方々との出会いや接点が生まれることで交流が広がり、新たな仕事の創出や定住に繋がっていくことを期待している。



△「仕事・学びの場」建設予定地の本町仮設住宅跡地。

# 問 3回目ワクチン接種は

## 答 一般住民は2月から



さ さ き はるかず  
佐々木春一 議員

町の考えを問う

問 新型コロナウイルス感染症の

3回目接種体制と対応は。  
12月と1月に接種できる医療従事者に接種券を発送し、それぞれ従事している医療機関等で接種する。  
一般の方々は2月以降に社会体育館での集団接種を基本とする。体育館で接種できない方は県立大船渡病院附属住田地域診療センターで接種できるように調整を進めている。接種日は、1、2回目の接種同様に接種日を指定させていただく。

問 新型コロナウイルスの3回目接種体制と対応は。  
12月と1月に接種できる医療従事者に接種券を発送し、それぞれ従事している医療機関等で接種する。  
一般の方々は2月以降に社会体育館での集団接種を基本とする。体育館で接種できない方は県立大船渡病院附属住田地域診療センターで接種できるように調整を進めている。接種日は、1、2回目の接種同様に接種日を指定させていただく。



△ 3回目ワクチン接種は、一般町民は2月以降に社会体育館での集団接種とし、接種日が通知される。

問 新型コロナウイルスの3回目接種体制と対応は。  
12月と1月に接種できる医療従事者に接種券を発送し、それぞれ従事している医療機関等で接種する。  
一般の方々は2月以降に社会体育館での集団接種を基本とする。体育館で接種できない方は県立大船渡病院附属住田地域診療センターで接種できるように調整を進めている。接種日は、1、2回目の接種同様に接種日を指定させていただく。

「オミクロン株」の水際対策、感染伝播の鎖を断つPCR検査を「いつでも、だれでも、どこでも」無料で—

議員のつぶやき

問 新型コロナウイルスの3回目接種体制と対応は。  
12月と1月に接種できる医療従事者に接種券を発送し、それぞれ従事している医療機関等で接種する。  
一般の方々は2月以降に社会体育館での集団接種を基本とする。体育館で接種できない方は県立大船渡病院附属住田地域診療センターで接種できるように調整を進めている。接種日は、1、2回目の接種同様に接種日を指定させていただく。

問 3回目ワクチン接種は、一般町民は2月以降に社会体育館での集団接種とし、接種日が通知される。

問 「公務員制度改革」や「働き方改革」のもとで公務員数の削減が進められている。職員の勤務実態における課題は。  
少子高齢化と人口減少や激甚化している災害、新型コロナウイルス感染症への対応などによる時間外勤務と心身の健康管理、地域課題解決に全力

## 問 職員のストレスチェックを 答 心身の健康管理が重要

を尽くせる職員体制の維持である。

問 職員のメンタルヘルスチェックの結果と対応は。  
ストレスチェックは、年1回実施している。高ストレス者の割合は8.8%となっているため、毎月の健康相談会を実施している。

問 地方自治の担い手である地方公務員の役割と人材育成は。  
住民福祉の向上のため、住民と職員の協働により、地域課題の解決に邁進し、次世代に明るい未来を切り開くことが役割。柔軟な発想で能力を

遺憾なく発揮できる職員の育成を図っていく。

## スポーツマスターズ 安全とおもてなしで

問 日本スポーツマスターズ2022岩手大会が令和4年9月に開催され、本町は軟式野球競技の会場に指定された。大会開催の準備と対応は。  
大変貴重な機会であり、選手の皆さんが安全にプレーできることを最優先に対応する。全国から来町いただくことから、おもてなしの気持ちをおもてなししながら、町のPRにも役立てたい。

問 日本スポーツマスターズ2022岩手大会が令和4年9月に開催され、本町は軟式野球競技の会場に指定された。大会開催の準備と対応は。  
大変貴重な機会であり、選手の皆さんが安全にプレーできることを最優先に対応する。全国から来町いただくことから、おもてなしの気持ちをおもてなししながら、町のPRにも役立てたい。

# 問 学校統合の選択肢は

## 答 現状維持・統合4案から

**問** 教育環境整備の計画と今後の進め方は。

**答** 教育長

学校統合に係る教育審議会での答申と来年度策定する「第10次教育振興基本計画」をもとに令和5年度から5カ年における教育政策の方向性を示す。

校、中学校とも統合した方が良いと答えている。

**答** 町長

センター周辺には、議会棟、農林会館などの公共施設がある。各施設の将来的な方向性を含め整備のあり方を検討する。

**問** 統合方式の選択肢は。

**答** 教育長

5つの選択肢①現在のまま②小学校のみ統合③中学校のみ統合④小中学校とも統合⑤小中一貫校（小中一貫型、義務教育学校）を示し、いずれか1案の答申を得る。

**問** 今年度末までの開発計画をまとめ、4年度設計、5年度工事で進める見通しか。

**答** 企画財政課長

周辺公共施設の複合的整備も念頭に、検討の時間を要すると捉える。

**答** 教育次長

有住、世田米両地区とも約7割の方が小学

**問** 生活改善センター改築の整備方針・計画は。

1案の答申を得る。

**答** 企画財政課長

周辺公共施設の複合的整備も念頭に、検討の時間を要すると捉える。



むらかみ 村上 がある 議員

現状、1学年生徒数10人以下が複数ある。慎重かつスピーディーな対応が必要だ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 「仕事・学びの場」合意形成を

## 答 説明と意見交換の機会で



△ 令和4年3月、学校統合に係る答申が出される教育審議会。

**問** 本町仮設住宅解体後の跡地活用策として「仕事・学びの場創出事業」が計画され基本設計段階にある。地域への情報提供や理解、合意形成が図られているか。

**答** 町長

地域への説明や意見交換はまだ実施していない。設計案などがまとまり次第、説明・意見交換の機会を設け、理解を深めていく。

**問** 光ファイバー網の高速通信を利用し、田舎でも最先端の仕事ができる「サテライトオフィス」は、既に10年前から始まっている。仮設住宅解体後の本町ありきで考えているのではないか。

**答** 企画財政課長

本町跡地は、後方支援の場所、仮設住宅の震災遺構、満蔵寺の景勝地、駐車スペース、町有地などの観点を考慮し、選定した。

**問** 事業計画の詳細、収支計画はいつ示すのか。

**答** 町長

事業規模、設計内容が決まり次第示したい。

○その他の質問項目

・デジタル変革への対応について

# ※ 所管事務調査を計画

※所管事務調査とは…  
常任委員会が、その  
部門に属する当該地  
方公共団体の事務を  
調査しています。

## ◇産業経済常任委員会◇

農政、林政、商工、観光、建設、上・下水道などに関する事務・事業の調査。請願、陳情などの審査を行います。

### 〈担当部門〉

・農政課 ・林政課 ・建設課 ・農業委員会

### 1. 所管事務調査項目

・農林業の振興について

### 2. 選定理由

農林業における生産性及び生産物の付加価値向上を持続的成長につなげ、町民所得向上に向けた検証と調査研究を行い提言します。

### 3. 調査内容

- ① 農業、畜産、林業など地場産業振興に係る調査研究。
- ② 農林業、事業所の担い手、後継者対策と農林業振興会の活動に係る調査研究。
- ③ 自然（地域）資源を生かした第6次産業化と工芸の推進に係る調査研究。
- ④ 伐採、搬出、植林など持続的森林作業システムと木材流通の確立に係る調査研究。

委員長 阿部 祐一  
副委員長 水野 正勝  
委員 林崎 幸正 佐々木春一  
佐々木初雄 瀧本 正徳 (オブザーバー)



### 委員長のひとこと

地域産業の継続発展には、担い手の確保と所得の向上が重要と捉え、情報収集や意見交換に努めます。

阿部 祐一 議員

## ◇総務教民常任委員会◇

総務、企画財政、保健・医療・福祉、教育やほかの常任委員会に属さない事務・事業の調査。請願、陳情などの審査を行います。

### 〈担当部門〉

・総務課 ・税務課 ・企画財政課  
・町民生活課 ・保健福祉課 ・教育委員会  
・選挙管理委員会

### 1. 所管事務調査項目

・教育振興について

### 2. 選定理由

小中学校の児童・生徒数が減少し、適正な教育環境の整備が課題となっていることから、小中学校の統合など再編整備に向けた調査研究を行い教育振興のあり方を提言します。

### 3. 調査内容

- ① 教育審議会における教育環境整備に係る調査研究。
- ② 第10次住田町教育振興基本計画の策定に係る調査研究。
- ③ 住田高校の魅力化に係る調査研究。
- ④ 地域創造学の取り組みの成果と今後の課題に係る調査研究。

委員長 高橋 靖  
副委員長 荻原 勝  
委員 菅野 浩正 菊池 孝  
村上 薫 佐々木信一



### 委員長のひとこと

未来を担う子どもたちにとって、より良い教育環境とは何か、調査研究を進めます。

高橋 靖 議員

10月1日から、3つの  
常任委員会などが、新しい  
体制でスタートしたことから、  
所管事務調査の計画を  
決めました。

# 町の課題をチェック

## ◇町政調査会◇

町政の公正、経費の節約と能率の向上を目的に  
町政の調査研究。議会と議員の質の向上、活性化  
を目指し研修研さん、交流を目的に活動します。

### 【活動計画】

- ① 議会・議員活動の活性化—毎月の研修、調査研究。
- ② 反問権・反論権の導入に向けた研究。
- ③ ふるさと納税の推進—議員自ら普及拡大による自主財源の確保。
- ④ 「町民と議員との懇談会」の開催。

### 【その他継続検討事項】

- ① 一般質問の答弁書事前配布に向けた調査研究。
- ② タブレットの導入に係る調査研究。
- ③ 通年議会の導入に係る調査研究。

会 長 菊池 孝  
副 会 長 佐々木春一  
理 事 林崎 幸正 佐々木初雄  
監 事 荻原 勝 水野 正勝



菊池 孝 議員

### 会長のひとこと

議員一人ひとりの提案を生かし、町の課題解決に取り組み、なにより町民福祉の向上を図ります。町民に信頼、親しまれる議会を目指します。

## ◇広報編集常任委員会◇

議会広報紙『すみた議会だより』の編集、発行を担当。紙面の充実と住民参加による親しまれる議会だよりの発行を目指します。

### 1. 所管事務調査項目

- ・議会広報紙『すみた議会だより』の編集、発行。

### 2. 選定理由

議員の活動や議会での一般質問、議案審議の状況を分かりやすくまとめ、広く情報提供し、開かれた議会運営に努めます。

### 3. 調査内容

- ① 年4回（3月、6月、9月、12月定例会）の発行。
- ② 住民目線による「わかりやすく」「読みやすく」「伝える・伝わる」紙面づくり。
- ③ 速報性を重視した議会閉会后30日以内の発行。

委 員 長 佐々木信一  
副委員長 水野 正勝  
委 員 菅野 浩正 阿部 祐一  
佐々木春一 荻原 勝



佐々木 信一 議員

### 委員長のひとこと

委員一人ひとりの編集技術を高め、より良い紙面づくりに努めます。感想をお寄せください。

# 追跡レポート⑦4 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

## 認知症・知的障がい者などの サポートを

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

### 質問

#### 成年後見人事業の導入を

認知症の方や一人暮らしの高齢者が増加していることから、市民後見推進事業を実施すべきと考えるがどうか。

### 答弁

#### 日常生活自立支援と一体的に

##### 社会福祉協議会を窓口

町内では、まだ親族による援助、支援が期待できる。社会福祉協議会が窓口となり、日常生活自立支援事業を活用しながら、成年後見制度の実施を検討したい。

### その後

#### 成年後見支援 相談窓口を開設

令和2年7月に町社会福祉協議会内に成年後見支援相談窓口を開設し、相談窓口を拡張。町民後見人養成のフォローアップ講座を実施している。



△ 町民後見人養成フォローアップ講座



### 現場の声

住田町社会福祉協議会  
はたけやま ともや  
畠山 朋也さん

住田テレビで「成年後見制度紹介番組」を放送。町民後見人養成講座の修了者は12人。社協に「成年後見相談窓口」を設置し、今年度は7件の相談がありました。



# わたしの未来

パート  
8

## 住田町の子どもたちが 将来の夢を語る

コーナーです。  
自薦・他薦も大歓迎。申し  
込みをお待ちしています。

### アニメを見て笑顔に

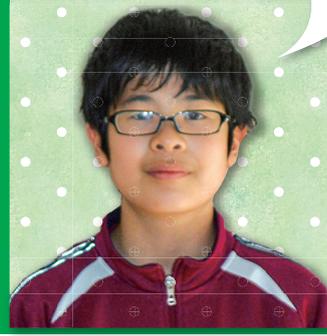
私の夢は**アニメーター**になることです。アニメを見て笑顔になる人を見たことがあります。私もそんなアニメをつくりたいと思いました。とても素晴らしい仕事だと伝えたいです。私の得意科目は社会の歴史なので、昔の日本の将軍を元にしたアニメをつくりたいです。



世田米小学校6年  
きくち ゆう  
**菊池 優**  
(世田米字和山)

### ぼくの夢は、お医者さん

ぼくは今、ゲームとサッカーに熱中していますが、将来は大学で勉強し、人の役に立つ医療関係の仕事をめざしています。住田町には病院が少ないので**お医者さん**になりたいです。町の人たちが笑顔で安心して暮らせるようにしたいです。



有住小学校6年  
みずの いぶき  
**水野 颯**  
(下有住字中上)

## 編集後記

広報編集常任委員会  
副委員長 水野正勝

新年あけましておめでとうございます。  
日頃より町民の皆様には、議会だよりの編集にあたり町政に関わる取材や写真も含めた個人インタビューなど温かいご理解とご協力に心から感謝申し上げます。  
議会だよりは町民の様々なご意見をお伝えするという重要な役割も担っております。今後も一人でも多くの方々のお話を伺い、町の発展や住民福祉の向上を実現できるよう努めてまいります。  
本年もよろしくお願いいたします。

## 広報編集常任委員会

- |       |       |           |
|-------|-------|-----------|
| 発行責任者 | 議 長   | 瀧 本 正 徳   |
|       | 委員 長  | 佐々木 信 一   |
|       | 副委員 長 | 水野 浩 正    |
|       | 委 員   | 菅野 祐 春    |
|       |       | 阿部 一 勝    |
|       |       | 佐々木 原 一 勝 |
|       |       | 荻 原 一 勝   |



## 表紙の写真



有住保育園



昨年、12月21日に有住保育園で行われたクリスマス会の様子です。自分で作ったサンタさんの帽子をかぶり、かっこよかわいらしく、クリスマス会が始まりました。この日は、サンタさんがプレゼントをたずさえて園を訪問。子供たちは満面の笑みでサンタさんをむかえると、プレゼントのお礼に歌や踊りを披露。サンタさんを囲み終始、笑顔あふれる会となりました。